

2.11 [土] 13:30-17:40

パネルディスカッション 再生する古典

〈基調講演〉13:40～

古典×再生＝テキスト遺産 ― 過去文化の復興における文学の役割 ●エドアルド・ジェルリーニ(ヴェネツィア・カフオスカリ大学)

〈発表〉14:55～

18-19世紀における王朝文学空間の再興 ●盛田帝子(京都産業大学)

琉球における日本古典文化の受容 ●ロバート・ヒューイ(ハワイ大学)

古典の再生 ― 古事記・日本書紀・風土記の翻訳と海外における受容 ●アンダソヴァ・マラル(早稲田大学)

〈討論〉16:20～

エドアルド・ジェルリーニ＋盛田 帝子＋ロバート・ヒューイ＋アンダソヴァ・マラル／ディスカサント 荒木 浩(国際日本文化研究センター)

●司会 飯倉洋一(大阪大学)

〈特別プレゼン〉17:10～

古典本文をWEBに載せる ― TEIガイドラインに準拠したテキストデータ構築

●永崎研宣(人文情報学研究所)＋幾浦裕之(国文学研究資料館)＋藤原静香(京都産業大学非常勤研究員) ●司会 加藤弓枝(名古屋市立大学)

2.12 [日] 9:50-17:15

セッション1 イメージとパフォーマンス 10:00～

絵巻と『徒然草』絵注釈の間 ― デジタルアプローチの試みをかねて ●楊 曉捷(カルガリー大学)*

人麿画像の讃の歌 ●佐々木孝浩(慶應義塾大学)

霊媒〈メディウム〉としての古典：初期テレビと1956年の幽霊 ●ジョナサン・ズウィッカー(カリフォルニア大学バークレー校)

女房装束の変遷 ― 平安期女房装束の復元を通じて ― ●佐藤 悟(実践女子大学)

●司会 盛田帝子(京都産業大学) ●ディスカサント 山田 和人(同志社大学)

セッション2 源氏物語再生史 13:30～

女房たちの源氏物語

― 『阿仏の文』を視座に ●田淵句美子(早稲田大学)

『源氏物語』享受史における詞の表象 ●松本 大(関西大学)

樋口一葉における和歌と源氏物語 ●兵藤裕己(学習院大学)

●司会 加藤弓枝(名古屋市立大学) ●ディスカサント 中嶋 隆(早稲田大学)

セッション3 江戸文学のなかの古典 15:35～

江戸幕府の儒臣と朝廷の文物

― 柴野栗山の事例を中心に ●山本嘉孝(国文学研究資料館)

紀行文の中の古典 ●ユディット・アロカイ(ハイデルベルク大学)

上田秋成における〈古典〉語り ●飯倉洋一(大阪大学)

●司会 有澤知世(神戸大学) ●ディスカサント 合山林太郎(慶應義塾大学)

*カルガリー大学の楊曉捷先生は、2022年10月13日に逝去されました。
先生は、ご逝去の直前にご自身の発表動画を完成し、事務局にお送りくださっていました。
今回は楊先生が本シンポジウムのために遺された発表動画を拝聴し、
先生をお偲びし、ご冥福をお祈り申し上げます。

Program

Map

■会場アクセス

JR「丹波口」駅徒歩約7分、阪急「大宮」駅・京福「四条大宮」駅徒歩約11分

■むすびわざ館へのアクセス

